学校番号	104

令和８年度　理数科

教科	理数	科目	理数数学探究	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	NEXT 数学Ⅲ(数研出版)						
副教材等	チャート式　基礎からの数学　数学Ⅲ＋Ｃ（数研出版） サクシード数学Ⅲ＋Ｃ（数研出版） メジアン数学演習Ⅰ・Ⅱ・Ａ・Ｂ・Ｃ〔ベクトル〕　受験編　（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業は基本的にはサクシードに沿って進めていきます。先生の説明をただ聞いているのではなく，自ら考え，主体的に学習をしてください。数学ⅢCは扱う問題の量が格段に増え，内容もより高度になっていきます。授業の中で「分かった」と思っていても，それを家に帰ってしっかり復習，演習をしていかないと「自分で解ける」ようにはなりません。また、試験前にまとめて復習することは難しいです。授業を受けて分からない事や質問などがあれば，放って置かず必ずその日のうちに解決していくようにしてください。
・家庭学習における課題は，定期的に提出してもらいます。また、長期休業中にはたくさんの課題が出されます。まとめてするのではなく，計画的にこなしていくようにしましょう。
・問題を解くときはまず自分で考えてみてください。その際，途中式や考え方も書くようにしましょう。分からないときは答えを見てもかまいません。ただし，そこに書いてある解説をしっかり読んで理解してから自分の力で解いてください。

2　学習の到達目標

（1）極限及び既習内容についての基礎的な知識を習得するとともに，数学的に処理する技能を身に付ける。
（2）極限及び既習内容を用いて，事象を数学的に考察・判断する能力を培い，それらを表現できる。既習範囲の大学入試問題に挑戦し、解くことができる。
（3）極限及び既習内容を主体的に活用する態度を養う。また、数学を主体的に活用する態度を育て、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	ベクトル，平面上の曲線と複素数平面，さらには数列の極限 及び既習内容の考えついての基本的な概念や原理･法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現･処理したりする技能を身に付ける。	ベクトル，平面上の曲線と複素数平面、さらには数列の極限及び既習内容を用いて事象を的確に表現し、その特徴を数学的に考察する力や問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価･改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
上に示す観点に基づいて，学習のまとまりごとに評価し，学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し，評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第2章　極限（数学Ⅲ）	第１節　数列の極限 １　数列の極限 ２　無限等比数列 ３　無限級数 第２節　関数の極限 ４　関数の極限（１） ５　関数の極限（２） ６　三角関数と極限	a：極限について用語や記号の意味を理解し極限について調べることができる。 ｂ：極限について数学的な考え方や見方を身につけている。 c：極限について関心をもっている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	観察 振り返りシート
2学期	総合問題演習	数学ⅠⅡⅢABC の入試問題演習	a：既習の単元の基本的な性質を理解し，知識を身につけている。 b:問題演習を通して，数学的に思考・判断・表現することができる。 c:問題の解法に関心をもち，既習の単元の性質を用いて考察しようとしている。	定期考査 確認テスト 定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート 定期考査 提出ノート	観察 振り返りシート

3学期	総合問題演習	数学ⅠⅡⅢABC の入試問題演習	a: 既習の単元の基本的な性質を理解し，知識を身につけている。 b:問題演習を通して，数学的に思考・判断・表現することができる。 c:問題の解法に関心をもち，既習の単元の性質を用いて考察しようとしている。	確認テスト 提出ノート	確認テスト 提出ノート	観察 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度